

財政認識が甘すぎる！

質問

町の経営指導に毎年作成する長期財政見込みがあるが、14年2月の合併町民懇談会では12年作成分で説明し、「当分10年間は楽々やっいていける」との説明から「このままで行こう」という判断になった。

しかし、この時点で町には13年11月作成分があり、積立金を考えると、単年度収支は赤字転落で、既に今日の状況が予測されたが、そういう説明は一切なかった。

14年11月作成分は17年以降全部赤字で、単独で行くなら、対策を出せと要請したが、町長は出せなかった。15年10月作成分は、赤字



高橋博幸

財政認識が甘すぎる！

幅は3億円に拡大。

今年の5月作成分は、赤字幅は更に拡大し4億1千万円。

毎年作成しても、町長の財政認識が甘く16年度予算編成で6億5千万円の財政調整基金を取り崩す事態を招いたことは、首長としてのマネージメント能力を疑わざるを得ない。

町長答弁

厳しくなるとい認識は持っており、削るべきところは削りながら頑張ってきた。

しかし、今日のこの状況を予測したという方はなかなかいないと思う。

そう悲観ばかりして、こうだあだど過去の悪いことばかり出さないでほしい。行財政抜本改革をやることにおいて、将来の湯沢町の安泰はあるだろうと考えている。

町の産業構造からして、固定資産税が入ってくるの

一般

質問

質問

で、特色のあるまちづくりができると思っている。

質問

町長は長期財政見込みを毎年見ていたはずだ！「悪いことばかり出さないで」と言うが、今まで議会に提示されていない以上指摘せざるを得ない。

町の将来予測は長期財政見込みに出てくるので、重視すべきだ。毎年議会に提示できないか。

町長答弁

内部で検討したい。



行財政抜本改革ができるのか？

質問

自立策も提示できないのに「合併しない」ばかり聞こえてくる。

14年2月、町民に説明した話と全く違う結果になるのではないか。

町長答弁

事務事業の見直しは、17年度の予算編成から反映できるように検討している。

合併せずを選択をしたが、議員の意向は、単独でと考える方が多い。

町長として健全化対策をきちんと示すことが、責務と思っている。

質問

事務事業の見直しでは全体像が見えてこない！

町が民意を問うたのは、2千人のアンケートで「平成17年3月31日までに合併をしたほうが良いかどうか？」であり、期限が切られている。

私が「おかしい！」というのはここだ。

以前の町長答弁は「3月31日以降もしないといった覚えはない！」だが、最近はいない方に変節し、合併しないという情報操作、世論誘導をしている。

行財政抜本見直しは10億円削減が必要で、一般会計は50億円程度を目指すべきだ。

観光を否定はしないが、この程度の自治体の中で特化し過ぎると危険だ、と指摘しており、もっと大きな自治体の中の一部として観光があるなら、バランスが取れてくる。

議会が合併賛成でないからと他の選択肢を検討しないのは、町長の便法ではない。

塩沢町の一部では、湯沢町と一緒に生きていくという動きもあるので、考えるべきだ。

町長答弁

危機感というのは、私が一番感じている。秋には事務事業の見直しの数値を出す。